

# 百合便り

## 校長だより8月号



### 百合のコサージュ (PTA活動)

夏休みも過ぎ、授業が始まりました。生徒たちの変わらぬ様子や、生徒に満たされた校舎に安堵の気持ちになります。

さて、夏休みはどのように過ごされましたか？学校の夏休みは三者面談や教材研究する職員の姿など、授業のないこのひと時に余力を蓄え、さらなる魅力につなげる有意義な時間ともいえます。また、小学校では指導要領改訂にともない、平成32年度から増える授業時数の試行として、夏休み2週間という学校が報道されていました。教育の変遷にはそれぞれに背景がありますが、学習内容と授業時数を義務教育の小学校から担保する日本の教育体制はその質の量の保証ではかなりレベルが高いのではないかと思います。それと同時に学校と家庭の在り方も考えさせられます。

では、百合高の夏休みニュースを少しご披露したいと思います。

#### 1 各部活大会結果（一部掲載）

サッカー部 選手権一次予選決勝進出/第一大会3位

男女テニス 県新人戦本選出場

女子バレー部 第一大会準優勝

女子バドミントン 団体戦川崎市4位

ダンス部 高校生ダンス選手権全国大会 Small 優秀賞

チアリーディング部 Japan Cup2017 日本選手権11位

#### 2 やまゆり観賞会新聞再載（8月6日朝日新聞）

今回は地域のやまゆり再生の活動と本校の校章、書道授業の生徒の俳句が紹介されました。

#### 3 学校説明会 8月19日(土) 麻生市民館

500人越えの参加者を迎え、20人の生徒協力のもとPTA製作のゆりコサージュを胸につけ、開催しました。

こうしてみると学校は生徒と職員のつながり、保護者の方の支援から成るものだと改めて感じます。これからは地域を取り込み、「チーム学校」という意識での学校経営がクローズアップされます。子どもを取り囲む昔ながらの「近所づきあい」が変化しても出会った大人が子どもたちを育てる構図は変わらないのだと思います。やまゆりをシンボルに「チーム百合丘」の構想を考え始めた夏休みでした。